

岐阜北週報



5月

月間

<input type="checkbox"/> 題字	国井省二	<input type="checkbox"/> 会長	国井 省二	
<input type="checkbox"/> 例会	毎週水曜	<input type="checkbox"/> 副会長	服部洋一朗	2009-2010
<input type="checkbox"/> 会場	岐阜都ホテル	<input type="checkbox"/> 幹事	波多野光裕	No.1352
		会報委員長	片桐順一郎	10.5.12 発行

前回の記録

第 1351 回例会 4/28 (水)
「IM・合同例会について」第 1 回
実行委員会開催 担当：若山委員
長・相宮・岡川副委員長

本日の予定

第 1352 回例会 5/12 (水)
慶祝行事・卓話「米山梅吉翁の生
涯」卓話者：白木昭三会員
担当：白木・小泉

次回の予定

第 1353 回例会 5/19 (水)
100 万 \$ 卓話テーマ「身近な歴史を
推理する」卓話者：若松学園主任指導
者 土田繁寿様 担当：郷・小森

会長挨拶 【国井 省二 会長】

会員の皆様、こんにちは。

本日の例会は、IM実行委員会の担当でIMの
全体打ち合せを行って頂きます。

6月にもう一度、例会変更してIMの最終リハ
ーサルを行う予定です。

IM実施まで残り3ヶ月となり、いよいよ大
詰めに入ってきました。会員の皆様全員でIM
が無事終わる様に努力して、成功していく為
にご協力お願い致します。

今振り返ると、私の後ろに国旗が掲げられて
います。

ここで少し勉強してきた事を述べさせて頂き
ます。「日の丸」のデザインはどこからきたか
と言う事です。

「日の丸」は、徳川幕府の御用船（ごようせん）
の旗印だったそうです。慣習法的にわが国の国
旗とされている「日の丸」は古くは御朱印船（ご
しゅいんせん）や徳川幕府の御用船（ごようせん）
の旗印でもあった。幕末に諸外国の船がやっ
てくるようになり、安政4年（1857）、幕府は
日本の「総船印」として日の丸を定めた。

慣習法的には日の丸は日本の国旗とされてお
り、また、判例でも日の丸が国民から事実上国
旗扱いされているとの認識が示されたりしてい
るが、日の丸のデザインを定めた法律はいまだ
に制定されておらず、その規格は確定されてい
ないそうです。

以上、会長挨拶とさせていただきます。

本日も宜しくお願い致します。

出席報告

会員数：35名

出席数：32/35

出席率：91.43%

欠席者：3名（出席免除0名 91.43%）

報告事項

○幹事報告

* 本日例会終了後、新旧合同臨時理事会を開催
します。関係者はこの会場にお残り下さい。

* 当クラブ推薦の2007～2008年度国際ロータ
リー財団、国際親善奨学生としてイギリスに1
年間留学していた伊原優子さんより、報告書の
提出が遅れたお詫びとお礼の手紙がきておりま
す。また同封で報告書と留学先のRCとの交換
バナー7枚も来てます。彼女は現在、東京都の
小学校教員として、外国籍の子供たちに日本語
を指導しているそうです。

* 明日は、長良川清掃の日です。お忘れのない
ようお願いします。



ニコニコ BOX (敬称略)

小島正三：
明日（昭和の日）は長良川清掃の日です。早朝ですがよろしく！

クラブフォーラム

テーマ
「IM・合同例会について」第1回・実行委員会開催
担当：若山委員長・相宮・岡川副委員長
①はじめに、若山委員長より資料説明
②各担当部門別にテーブルを囲みミーティング
③資料の内容等に対する質疑応答
次回は6月9日に第2回・実行委員会を予定しています。

国際親善奨学生 伊原優子さん

国際親善奨学生 伊原優子さんの「最終報告書」より一部転載
スポンサークラブ：岐阜北RC
ホストクラブ：英国 ブリストルRC
受け入れ大学：英国 ブリストル大学教育大学院

2007年10月～2008年9月の約1年間、私は国際ロータリー財団の国際親善奨学生として、英国ブリストル大学教育大学院に派遣され、比較教育学を勉強する機会を頂いた。留学準備期間中は、まだかまだかと出発を心待ちにしたものであったが、終わってみると、言葉通り「あつと」という間に過ぎ去った期間であった。留学中は、ここで表現しきれない程の素晴らしい出来事や体験ができたと同様に様々な艱難辛苦を乗り越えることができた、本当に充実した1年であったと痛感している。

本報告書は、私が奨学生として学び、感じたことをまとめ、財団本部及び派遣、受け入れ地区に最終報告書として提出するものである。また本報告書は、以下の5つの項目に分けて構成されている。(項目内容は長文のため省略)

- 1、学業面での成果及び英国留学の個人的意義
- 2、留学を通じて変化した英国認識
- 3、ロータリー財団の3つの使命「国際理解、親善、平和の達成」と国際親善奨学生としての私の貢献
- 4、国際親善奨学金と他の奨学金の異なる点とは？また将来の国際親善奨学生に対する助言及び提言
- 5、ロータリーと私のこれから

国際親善奨学生 伊原優子さん (続き)

最後になりますが、この1年間支えて下さった皆様、本当にありがとうございました。心から、感謝の念を申し上げます。英国で得ることのできた経験を活かして、今後忘れることなく、私自身、今後前進していきたいと強く感じています。本当にご支援ありがとうございました。

長良川清掃 4月29日(木) 昭和の日
担当：社会奉仕(環境保全)委員会

小雨決行ということで、雨中で傘を差しながらの清掃活動でしたが、当クラブお揃いのレモンイエローのブルゾンが役に立ちました。小島委員長をはじめ総勢12名の出席者の皆様ご苦労さまでした。



次回例会のご案内
第1353回 5月19日(水)
100万\$・卓話テーマ「身近な歴史を推理する」卓話者：若松学園主任指導者 土田繁寿様
担当：郷・小森

会報・広報委員会 塚原 進